

第2期 妹背牛町 まち・ひと・しごと創生総合戦略



本町では、「妹背牛町まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、「総合戦略」）を平成27年度に策定。5年間の目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめ推進してきました。

総合戦略の計画期間終了を受け、第9次妹背牛町総合振興計画の内容を反映させ、令和3年度から令和7年度までの5年間の第2期総合戦略を策定しました。

施策の体系と数値目標

総合戦略では、国や道の追加・修正内容を勘案するとともに、第9次妹背牛町総合振興計画の内容を反映し見直しを行いました。その内容を一部紹介いたします。

詳しい内容は
ホームページへ⇒



基本目標1 妹背牛町における 安定した雇用を創出する

指標	基準値	数値目標
農業従事者数	496人 (R元年度)	85%以上維持 (R7年度)
町内従業員数	985人 (H28年度)	90%以上維持 (R7年度)

- (1) 農業生産基盤の整備と高度化
- (2) 商工業活性化の推進

基本目標3 結婚・出産・子育ての 希望をかなえる

指標	基準値	数値目標
子育て世帯の転入	2世帯 (R元年度)	3世帯 (R7年度)
出生数	11人 (R元年度)	11人 (R7年度)

- (1) 結婚・出産への総合的な支援
- (2) 多様なニーズに対応した子育て環境の充実
- (3) 子どもの健全な成長を促す教育環境の充実

基本目標2 妹背牛町への 新しい人の流れをつくる

指標	基準値	数値目標
観光入込客数	209,802人 (R元年度)	225,000人 (R7年度)

- (1) 地域資源を活かした観光産業の振興
- (2) 移住・定住の促進

基本目標4 ひとが集う、安心して暮らす ことができるまちをつくる

指標	基準値	数値目標
地域活動団体数	11団体 (R元年度)	11団体 (R7年度)
生活支援コーディネーターの配置	2人 (R元年度)	2人 (R7年度)

- (1) 地域づくり活動の活性化
- (2) 住民が生涯にわたり安心して生活できるまちづくり
- (3) 生活基盤の整備
- (4) 広域連携の充実強化

創生会議が答申書を提出

妹背牛町まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定にあたり、7月21日に田中一典町長から妹背牛町まち・ひと・しごと創生会議に諮問を行いました。

創生会議は計3回の会議を開催し11月27日、中易猛会長と中谷雄二副会長が来庁。田中町長へ答申を行いました。

答申を受け田中町長は「審議を重ねていただき感謝申し上げます。皆さんの思いを受け止め、推進していきます」と感謝を述べました。

